



7月2日（日）2017年第1回日本語能力試験 世界各地で47万人が挑戦！海外の応募者数は4万6000人増加

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）は、7月2日（日）に、海外35の国・地域、127都市において、日本語能力試験（JLPT）を実施します。

この試験は、日本語を母語としない人の日本語能力を測定し、認定する試験としては世界最大規模のもので、毎年2回実施されています。今年で33年目を迎えますが、試験を実施する国・都市は年々増加しており、応募者数も昨年同時期の試験と比べ、海外で約4万6000人、日本国内で約3万人増加しました。特に海外では、引き続き東南アジアや南アジアでの増加が目覚しく（28%増加）、また最大規模の実施国である中国、韓国をはじめ東アジアでも例年以上に増加（13%増加）するなど、関心の高さが伺えます。

■2017年第1回（7月）日本語能力試験の概要

【実施日】 2017年7月2日（日）

【実施都市】 海外35の国・地域、127都市、日本国内47都道府県

* 国際交流基金は海外分を、公益財団法人日本国際教育支援協会が日本国内分を実施

【応募者数】 約46万6000人（海外約31万4000人／日本国内約15万2000人）

【実施レベル】 N1～N5の5レベル（N1が最も難易度の高いレベル）

* レベル毎の認定（合格）の目安および詳細は、ウェブサイト（<http://www.jlpt.jp/>）をご覧ください。

■海外の応募者数

- 31万4,159人 2016年第1回試験より海外全体で17%増加
- 東アジアでは13%、東南アジアでは28%増加
- 応募者数の上位3か国・地域および著しく増加率の高かった3か国は以下の表のとおり。

	国・地域	応募者数(人)	前年比増加率
応募者数上位3か国・地域	1位 中国※	134,996	15%
	2位 韓国	43,473	15%
	3位 台湾	41,585	7%
その他、増加率の高い国	ミャンマー	5,574	122%
	スリランカ	2,057	51%
	フィリピン	5,739	24%

※香港・マカオを含む。

■試験結果の活用例

- 「高度人材に対するポイント制による出入国管理上の優遇制度」でのポイント付与（平成29年4月よりN1に加え、N2がポイント付与の対象に）
- 厚生労働省所轄の医師国家試験、准看護師試験等の受験資格認定
- EPA（経済連携協定）に基づく看護師・介護福祉士候補者選定の条件（インドネシア、フィリピン、ベトナム）

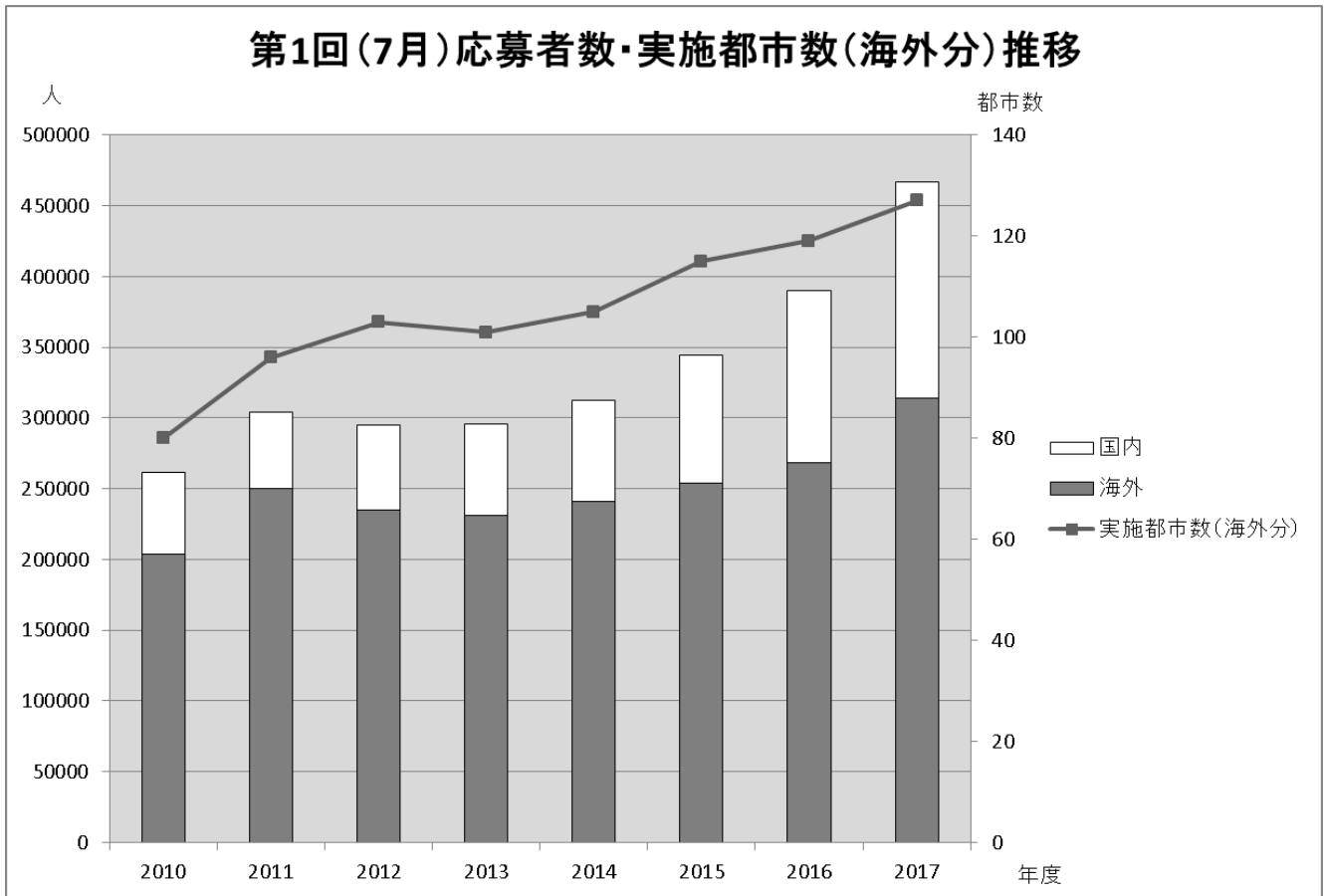
主催者・本事業に関するお問い合わせ： 国際交流基金 日本語試験センター（担当：安藤）

Tel: 03-5367-1021 / E-mail: jlptinfo@jpf.go.jp

取材に関するお問い合わせ： 国際交流基金 コミュニケーションセンター（担当：二村、熊倉、常盤）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp

参考資料：第1回（7月）応募者数・実施都市数（海外分）推移



主催者・本事業に関するお問い合わせ： 国際交流基金 日本語試験センター（担当：安藤）

Tel: 03-5367-1021 / E-mail: jlptinfo@jpf.go.jp

取材に関するお問い合わせ： 国際交流基金 コミュニケーションセンター（担当：二村、熊倉、常盤）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp